

ふれあい情報

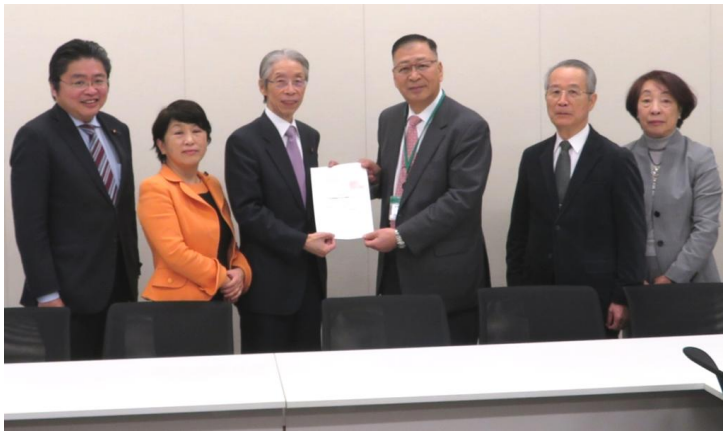
2019年 3月7日 (木) 第296号

■発行 日本退職者連合
 ■発行人 菅井 義夫
 ■連絡先 〒101-0062
 東京都千代田区神田駿河台 3-2-11

<TEL> 03-5295-0507 <FAX> 03-5295-0541 <e-mail> ntr@sv.rengo-net.or.jp

2019年度政策・制度要求 (春要求) 実現に向けて

立憲、国民、社民3党へ協力要請



▲社会民主党要請。人見会長が又市征治党首(参院議員、左から3人目)に手交。党参加者は左から吉川元幹幹事長(衆院議員)、福島みずほ副党首(参院議員)。要請中に参加した照屋寛徳衆院議員の計4人。要請団は、右から野田、菅井の各役員。(2月28日、衆院第2議員会館)。



▲立憲民主党要請。人見会長が逢坂政調会長(左から7人目)に手交。党参加者は左3人目から本多平直政調筆頭副会長(衆院議員)、尾辻かな子厚労部会事務局長(衆院議員)、佐々木隆博団体交流委員長(衆院議員)、相原久美子政調会長代理(参院議員)の計5人。要請団は、左から野口、川端、右から野田、菅井、石原、宮園の各役員。(3月5日、衆院第2議員会館)

進委員長。
 彦政策委員長、野口徹也組織委員長、竹田邦明男女平等推進委員長、
 人見一夫会長、石原喜久副会長、
 宮園哲郎副会長、菅井義夫事務局長、
 野田那智子副事務局長、林道寛副事務局長、
 川端邦彦事務局長、野口徹也組織委員長、
 竹田邦明男女平等推進委員長

員は左記の通りです。

(退職者連合の要請団)

(お知らせ)
 厚生労働大臣要請は、当初の日程が国会状況により延期となりました。現在、厚労省と再調整中です。

退職者連合は、第198回通常国会での政策・制度要求(春要求)の実現に向けて、立憲民主党、国民民主党、社会民主党の3党に協力を要請しました。人見一夫会長は、各党への要請あいさつの中で、政策実現への決意を表明するとともに、参議院選挙での勝利のために野党が一致団結して闘うことを強く求めました。

退職者連合が要請を行つた年度予算案が審議中であり、たのは、社会民主党が2月緊迫した状況が各党から報道された。立憲民主党と国民民主党が告されました。特に代表あいさつが3月5日です。さつの中で共通したのは、安

心の問題です。
 「今の国会は異常だ。民主主義の前提が成り立っていない」と立憲民主党の逢坂誠二政務調査会長(衆院議員)は厳しく批判。「参議院選挙に勝ち、野党の数を何としても増やすことが大事」と強調。「退職者連合の皆さんの応援をよろしくお願ひしたい」と述べました。



▲国民民主党要請。人見会長が泉健太政調会長(衆院議員、左から6人目)に手交。党参加者は、左3人目から浅野哲衆院議員、川合孝典企業団体委員長(参院議員)、西岡秀子衆院議員の計4人。要請団は左から野田、野口、右から菅井、川端、宮園、石原の各役員。(3月5日、国民民主党本部)

男女平等参画推進第8回学習会開く

高齢单身女性への社会保障のあり方問う

男女平等参画推進に取り組み退職者連合は、3月1日(金)午後1時30分から連合本部で第8回学習会を開きました。産別・関連退連や地方退職者連合から178人が参加。女性は94人、参加率は53%でした。講師は、法政大学大原社会問題研究所の藤原千沙教授。参加者は「シニア・高齢单身女性と税・社会保障制度」をテーマに約2時間にわたり熱心に勉強しました。

智恵を出し合おう

主催者あいさつで男女平等参画推進委員会の竹田邦明委員長は、「私たちは、これまで17産別・関連退連をお邪魔して、『女性会員がいろんな機会に参加できるように努力してください。そのためには先ず第一歩として女性会員を増やしてほしい』とお願ひした。今日こうして見ると大勢の女性の方にお集まりいただいている。いつも退職者連合の会議は黒一色。今日は



竹田委員長



▲熱気に包まれた会場。参加者は藤原教授の話に真剣に聴きいていた。(2019年3月1日、連合本部)

現役時代の賃金格差影響(井上) 高齢单身女性の貧困明かす(藤原) 続いてあいさつした連合・総合男

『いるじゃない』という印象を持った。あとは、構成組織の中で智恵を出し合つて、こういう機会をどうつくつていくのが大事」と課題提起しました。

女・雇用平等局の井上久美枝総合局長(写真下)は、「この学習会で毎年あいさつしている。年々参加する女性が目に見えて増え、退職者連合の取り組みのすごさに現役として負けられない」と開催の意義を評価。続けて現職の立場から見た高齢女性の抱える問題に触れ、「女性が輝いて仕事をすることが、日本経済を活性化させるということ。安倍内閣は女性活躍推進法を作った。働く女性は増えたが、半数以上の女性は非正規雇用。男性は9割が正社員だ。賃金格差は男性を100とした時、女性は73ポイント。均等法が出来て30年過ぎたが、この数字は変わっていない。女性がこのまま年齢を重ねれば、賃金格差が退職後に大きな影響を与えることになる。まさに低所得高齢単



身女性の社会保障の問題は、現役時代の男女間の賃金格差にあり、まったなしの政策課題だ」と指摘。連合では新たな社会保障ビジョン策定や第4次税制改革基本大綱の見直しを行っているを紹介しました。また話の中で井上局長は現退連携が重要と強調しました。

講演では藤原教授が、「女性では高齢期(70歳以上)の貧困率が最も高い」と指摘。高齢单身女性と税・社会保障のあり方について資料を使い多角的に切り込みました。

(お断り) 藤原先生の顔写真は、ご本人の希望により掲載を控えさせていただきました。なお先生の講演資料は、退職者連合のホームページをご覧ください。



▲178人は、これまでの学習会で最高の参加人数。15の地方退職者連合からも31人が参加した。